

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 都市計画課

シート No. : 82-2 作成日: 2025.5/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後 期 基 本 計 画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	2 多様な交流を促す交通ネットワークを形成する	南北に長く平坦な地形を有し、居住地が多極化・分散化しているため、交通需要密度が低いという地理的特性があります。これまで、鉄道、路線バスのほか、市民の生活交通手段を確保するため、乗合タクシー（デマンド交通）により交通空白地帯の解消を図っていましたが、路線バスの減便・廃止やタクシー事業者の廃業等が相次いでおり、市内での移動手段を維持するため、コミュニティバスが令和6年4月から運行開始となりました。各交通モードの役割を明確化し、既存公共交通の維持・改善が求められています。	各交通モードの役割を明確化することで、限られた資源を効率的に活用し、公共交通網の維持・改善を図っていきます。
	施策	2 交通機関の整備		
	施策内容	公共交通体系の充実 移動利便性の向上		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市地域公共交通計画		
事務事業名	公共交通活性化協議会、コミュニティバス、ふれあい号			

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
常総市地域公共交通 活性化協議会 （R 6・7・8）	ふれあい号の運行に活用している国の補助金申請に関する協議、コミュニティバスの運行見直しに関する協議を行いました。	協議会開催回数（回）	3	3	340 千円	137 千円
			3	3		
コミュニティバス運行 （R 6・7・8）	R 6 年 4 月 4 日から運行を開始しました。年末年始を除き、毎日運行しています。 利用状況を分析し評価検証を行い、R 7 年 4 月からの再編内容をとりまとめました。	計画運行日数（日）	356	359	73,200 千円	72,923 千円
			356	359		
ふれあい号運行 （R 6・7・8）	土日祝日、年末年始等を除き運行しています。 運行台数は3台（R 6 年 1 2 月までは4台）です。 また、予約システムを AI（人工知能）を活用したシステムに更新しました。	計画運行日数（日）	239	239	45,841 千円	45,397 千円
			239	239		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
コミュニティバス利用者	90 人/日 （R 6）	30.6 人/日
ふれあい号利用者数	14.2 人/日・台 （R 6）	12.5 人/日・台

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☒ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
コミュニティバスにつきましては、昨年度までの準備期間を経て、運行開始となりましたが、運行便数に関する多くのご意見をいただくなど、利用者数が少ない状況が続いていることから、早期の見直しをすることとなりました。 ふれあい号につきましては、運行を委託しているタクシー事業者の減少により運行台数が減ってきており、予約が取りにくいとのご意見も多くなっているため、運行体制の見直しを進めていく必要があります。	今後の方向性			
	ふれあい号の運行台数は近年減少が続いておりますが、一方で、新たな移動手段となるコミュニティバスが運行開始となりました。 ふれあい号やコミュニティバスなどの交通資源を個別に考えるのではなく、鉄道やタクシーなどの民間交通資源も含め、今ある交通資源を組み合わせる（役割を明確化する）ことで、公共交通網の維持・改善を図っていきます。			